



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

2021年1月29日

お知らせ

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は
株式会社格付投資情報センターの選定による「R&Iファンド大賞2020」において
「投資信託／総合部門」の「国内株式総合部門」で
「最優秀賞」を受賞しました。



「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社は
「リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワード 2020 ジャパン」において
「投資信託 株式部門 最優秀会社賞」を2年連続受賞しました。
(直近7年間では6回目の受賞です。)



REFINITIV LIPPER FUND AWARDS

2020 WINNER
JAPAN

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードは毎年、多くのファンドのリスク調整後リターンを比較し、評価期間中のパフォーマンスが一貫して優れているファンドと運用会社を表彰いたします。

選定に際しては、「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、評価期間3年、5年、10年でリスク調整後のパフォーマンスを測定いたします。評価対象となる分類ごとに、コンシスタント・リターンが最も高いファンドにリフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードが贈られます。詳しい情報は、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。Refinitiv Lipperは、本資料に含まれるデータの正確性・信頼性を確保するよう合理的な努力をしていますが、それらの正確性については保証しません。

リフィニティブ・リップパー・ファンド・アワードについて

世界の20カ国以上で30年余りにわたり、高く評価されているRefinitiv Lipper Fund Awardsは、独自の投資信託評価システム「Lipper Leader Rating (リップパー・リーダー・レーティング)システム」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用い、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。評価方法の詳細につきましては、lipperalpha.refinitiv.com/lipper/をご覧ください。

当表彰は、スパークス・アセット・マネジメント株式会社が受賞したアワードであり、当ファンドの受賞ではございません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド

(愛称:韓国厳選投資)

特化型 マンスリーレポート

基準日 2021年1月29日

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

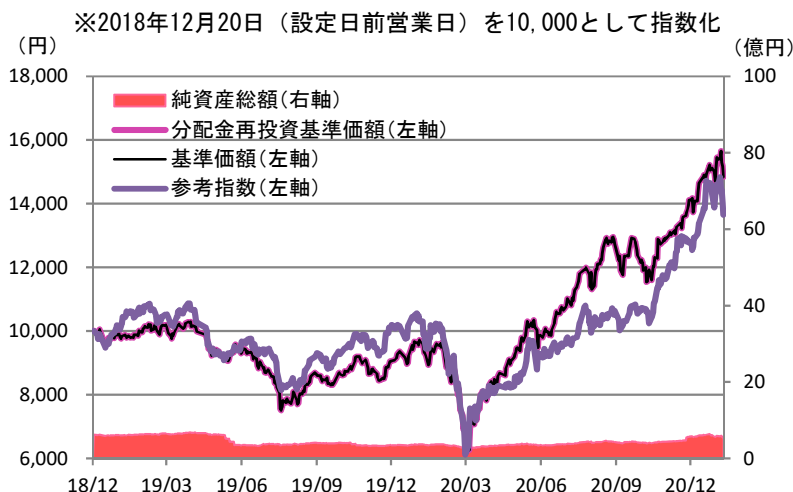
【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)			
	ファンド	参考指数		
過去1ヵ月間	1.30	2.00		
過去3ヵ月間	24.41	33.36		
過去6ヵ月間	31.45	39.54		
過去1年間	60.87	44.56	第1期 2019/12/18	0
過去3年間	-	-	第2期 2020/12/18	0
設定来	48.34	36.55	設定来累計	0

※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。
 ※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は、「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。

【基準価額・純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
14,834 円	14,834 円	5.38 億円



※当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「韓国総合株価指数(円ベース)」です。詳細は、本資料5頁をご参照下さい。
 ※基準価額は、信託報酬等控除後です。
 ※分配金再投資基準価額は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。
 ※過去の実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

【資産配分】

資産種類	比率
株式	97.1%
投資信託証券	0.0%
その他株式関連証券	0.2%
現金その他	2.7%
合計	100.0%

【業種別配分】

業種	比率
半導体・半導体製造装置	25.3%
資本財	13.4%
素材	12.9%
メディア・娯楽	10.4%
テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.3%
ソフトウェア・サービス	7.4%
食品・生活必需品小売り	6.0%
ヘルスケア機器・サービス	5.9%
医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.9%
自動車・自動車部品	2.7%
食品・飲料・タバコ	2.1%
合計	97.1%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。
 * 業種別配分の内訳と合計は四捨五入の関係で合わない場合があります。

【組入れ上位 10 銘柄】(銘柄総数:27銘柄)

No	銘柄名	業種	組入比率
1	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	8.3%
2	Leeno Industrial Inc.	半導体・半導体製造装置	7.8%
3	DOUZONE BIZON CO.LTD	ソフトウェア・サービス	7.4%
4	CS Wind Corp.	資本財	6.8%
5	Suheung Co. Ltd.	ヘルスケア機器・サービス	5.9%
6	Tokai Carbon Korea Co., Ltd.	半導体・半導体製造装置	5.5%
7	MiCo Ltd.	半導体・半導体製造装置	4.6%
8	E-MART Inc.	食品・生活必需品小売り	4.5%
9	SK Materials Co., Ltd	素材	4.4%
10	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	資本財	4.3%

※上記記載のうち、【運用実績】、【基準価額・純資産総額の推移】以外は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。
 ※比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 当資料のご利用に当たっては、次ページ以降の注意事項を必ずお読み下さい。

スパークス・韓国株ファンド (愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート
基準日 2021年1月29日

組入上位銘柄の概要

No	銘柄名	銘柄概要
1	Samsung Electronics Co Ltd Pfd Non-Voting	サムスン電子(Samsung Electronics Co., Ltd)は電子機器・電気製品メーカー。半導体、パソコン、周辺機器、モニター、テレビなどをはじめとする民生用ならびに産業用電子機器・製品を製造、販売。エアコン、電子レンジなどの家電製品や、インターネット・アクセス・ネットワーク、携帯電話などの通信機器システムも製造する。
2	Leeno Industrial Inc.	リノ工業(LEENO Industrial Inc.)は、プリント基板・半導体IC検査機器用の部品メーカー。プリント基板検査用ピン、半導体チップ検査用ソケットなどを手掛ける。
3	DOUZONE BIZON CO.LTD	ダゾンビズオン(DuzonBizon Co., Ltd.)は、ソフトウェア開発会社。中小企業向けの会計プログラム、ERP(基幹系情報システム)、クラウドサービス、グループウェア、電子税金計算書など、企業インフラに必要なITソリューションを提供。
4	CS Wind Corp.	CSウインド(CS Wind Corporation)は風力発電機向け支柱の大手メーカー。各国の主要風力タービンメーカーとも緊密な関係を持ち、ベトナム、中国、カナダ、英国、マレーシアなどに事業を展開。
5	Suheung Co. Ltd.	ソフン(Suheung Co., Ltd.)は、医薬品業界向けにゼラチン製のハードカプセルとソフトカプセルなどのメーカー。健康・栄養食品とハードカプセル充填機も手掛ける。
6	Tokai Carbon Korea Co., Ltd.	トカイ・カーボン・コリア(Tokai Carbon Korea Co., Ltd.)は、半導体プロセス材料として用いられるシリコンカーバイドリングなどのメーカー。機械用ゴム部品に使用されるカーボン製品も手掛ける。韓国企業のKC Group社と東海カーボン(株)によって設立された合弁企業。
7	MiCo Ltd.	ミコ(Mico Ltd)は、半導体部品洗浄サービスの提供や大気圧～中真空の状態において、ガス状の気体原料を送り込み、熱、プラズマ、光などのエネルギーを与えて化学反応を励起・促進して薄膜や微粒子を合成し、基材・基板の表面に吸着・堆積させるCVDなども手掛ける。
8	E-MART Inc.	Eマート(E-MART Inc.)は、ディスカウントストア、オンラインモールなどを運営する小売業。海外にも店舗を展開。
9	SK Materials Co., Ltd	SKマテリアルズ(SK Materials Co., Ltd.)は、特殊ガスの生産・販売を手掛ける。同社の主力製品は、半導体・液晶ディスプレイ用のNF3(3フッ化窒素)、太陽電池用の特殊ガス(SiH4:モノシラン、WF6:六フッ化タンゲステン、DCS:ジクロルシランなど)
10	Kyung Dong Navien Co., Ltd.	慶東ナビエン[キョンドン・ナビエン](Kyung Dong Navien Co., Ltd.)は、ボイラーなどのメーカー。オイルボイラー、ガスボイラー、冷凍機、ヒーター、パイプ、シンク、ガス検知器などを手掛ける。

※上記記載は当ファンドが投資するマザーファンドに関する情報です。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド

(愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2021年1月29日

コメント

■市場環境

当月、KOSPI（韓国総合株価指数、韓国ウォンベース）は、前月末比3.58%上昇しました。

KOSPIは当月初めて3,200ポイントを上回りましたが、ボラティリティが上昇したため、2,976ポイントで月を終えました。

米国では与党民主党がホワイトハウスだけでなく、上院、下院とも過半数を占める「ブルーウェーブ」により期待インフレ率が上昇し、景気循環株の株価上昇要因となりました。それまで株価の上昇が限定的だったエネルギーセクター、素材セクター、金融セクターの株価が上昇した一方で、ITセクター、通信セクター、一般消費財セクターがアンダーパフォームしました。

1月27日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）では、予想外の動きはありませんでした。パウエルFRB（米国連邦準備理事会）議長は、既存の金融政策スタンスを継続するという姿勢を再度強調し、債券購入額のテーパリング（徐々に縮小）議論は時期尚早であるとの考えを明確にしました。

■運用状況

当月、当ファンドは前月末比1.30%上昇しました。一方、KOSPI（韓国ウォンベース）をもとに当社が円換算した「KOSPI（韓国総合株価指数、日本円ベース、参照レートはロンドン時間午後4時のWMロイターレート）」は、同2.00%上昇しました。

当月は、Leeno Industrial（半導体・半導体製造装置）、S&T Motiv（自動車・自動車部品）、Tokai Carbon Korea（半導体・半導体製造装置）などがパフォーマンスに貢献した一方で、CSWind Corp（資本財）、SK Materials（素材）などがマイナスに影響しました。

当ファンドは、Samsung Electronics（テクノロジー、ハードウェアおよび機器）とSuheung（ヘルスケア機器・サービス）の組入比率を引き上げ、Chunbo（テクノロジー）およびSam Chun Dang Pharm（医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス）を全売却しました。

■銘柄紹介

Samsung Electronics

2020年10月、当ファンドはSamsung Electronicsを新たに組み入れ、当月末は組入比率を8.3%（前月末は4.8%）に引き上げました。これは、2020年に特に世界の半導体業界で大きな「変動」が生じていたためです。ここではSamsung Electronicsの投資ポイントについて、「■今後の見通し」欄では世界の半導体業界で起きている「変化」の詳細について説明します。

第一に、Samsung Electronicsの全事業部門の収益は、年内に改善すると当ファンドは考えます。その理由は次のとおりです。

- i. メモリ半導体市場は、2020年は新型コロナウイルスの感染拡大により、回復が遅れていましたが、2021年は成長が持続する見込みです。60社を超える世界の主要半導体企業が参加する半導体市場の統計機関であるWSTS（世界半導体市場統計）は、半導体市場全体の2021年成長率は年率8.4%となり、前年の年率5.1%成長を大幅に上回ると予想しています。新型コロナウイルス感染拡大により、スマートフォンや携帯型ゲーム機などのIT機器に対する需要は一時減少していましたが、本格的に需要が回復し始めたことで、半導体の供給が不足する現象が発生しました。さらには、こうした状況が半導体価格の上昇と業界の長期的な成長期待をもたらしています。また、世界のIT企業のデータセンター建設を巡る競争は激化すると予想されています。ニューヨーク・タイムズ紙は2020年12月23日付で、「Google社、Microsoft社、Facebook社（いずれも米国）が主導するデータセンター投資競争にIBM社（米国）、Oracle社（米国）、JD.com社（中国）が参加」という記事を発表しました。この記事では、「これにより、来年以降の競争はさらに激化するだろう」とも報じられていました。一つのデータセンターには10万台を超えるサーバが設置され、その大半はDRAMなどのメモリ半導体で埋め尽くされています。市場調査会社Omdia社（英国）は、DRAM半導体市場の規模は昨年の621.2億米ドル（約6.5兆円）から、2021年は794.5億米ドル（約8.3兆円）に達し、2022年には1,049.2億米ドル（約11兆円）へと急成長すると予測しました。半導体メーカーの供給能力が需要の増加に追いつけないため、今年のメモリ半導体およびシステム半導体の供給不足は避けられない見通しです。
- ii. Apple社（米国）、Samsung Electronics（韓国、当ファンド組入銘柄）、Huawei社（中国）が優位な立場にあるハイエンド・スマートフォン市場では、米中貿易摩擦が原因となってHuawei社の半導体チップ購入が困難になり、Huawei社の半導体チップ在庫が不足しているため、市場環境はSamsung Electronics製のスマートフォンに有利に働いています。
- iii. さらに、ディスプレイ部門では、主にスマートフォン向けだった有機ELディスプレイがタブレットやノートパソコンにも拡大しています。

(次ページへ)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド

(愛称: 韓国厳選投資)

マンスリーレポート

基準日 2021年1月29日

コメント

(前ページより)

第二に、ファウンドリ（半導体製造工場）事業の拡大が予想されます。ファウンドリとは、Qualcomm社（米国）、AMD社（米国）などの半導体設計企業から設計図を受け取ることで、生産に特化する事業です。これは、巨額の設備投資費用や高度な生産技術など、半導体生産の要件が高度であるため、どの半導体開発企業も生産が困難であることが理由です。ファウンドリ事業では数社が競合していますが、最新ノードである7nmチップを製造できるのは台湾のTSMC社（台湾）とSamsung Electronicsだけと言われています。垂直統合型デバイスメーカー（IDM）を代表するIntel社（米国）でさえ、マイクロ・プロセッシング技術の開発で後れをとっているため、ファウンドリへの生産外注比率を高めることを計画しています。したがって、ファウンドリ事業の中長期的な見通しは非常に有望です。

第三に、世界の他の大手テクノロジー企業と比較すると、Samsung Electronicsの株価は比較的割安です。2020年の実績に基づく、Samsung ElectronicsのPER（株価収益率）は17.6倍であるのに対し、TSMC社は26.5倍、Apple社は34.6倍、Amazon社（米国）は93.5倍です。2021年の予想PERも、Samsung Electronicsが22.9倍、TSMC社が28.4倍、Apple社が34.6倍で、大手テクノロジー企業の中でSamsung Electronicsはバリュエーションが最も割安になっています。Samsung Electronicsの予想事業利益400億〜500億米ドルは一時的な現象ではありません。大小の浮き沈みはあるかもしれませんが、Samsung Electronicsは今年から、上述の営業利益を創出する企業となる可能性があります。

当ファンドの組入銘柄のファンダメンタルズは、依然として損なわれていないと私どもは考えていますが、今後も慎重に注視し、投資目的との整合性を保っていく方針です。当ファンドは、韓国国内の事業の魅力と構造改革だけを原動力に、持続的かつ長期的な成長を遂げると考えられる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築してまいります。

■今後の見通し

2020年、特に半導体業界では、世界的な変化が起こり始めました。そしてこの変化は本年に急速に進むと予想されます。

半導体製造業界での過去60年間に渡る、激しい「覇権争い」が終わりを迎えています。現在の各世代の半導体チップは前世代よりも製造が技術的に困難で、工場建設費用は高騰しています。業界における最先端の半導体チップを製造可能なメーカーの数は2020年に25社から3社に減少しました。世界第1位の半導体企業であるIntel社（米国）は「危機」に直面しています。Intel社は、半導体企業の時価総額第1位の座をNvidia社（米国）に明け渡し、売上高でも当ファンド組入銘柄のSamsung Electronicsが首位の座に迫りました。これを受け、Intel社は1月13日（米国現地時間）に、2年前に就任した最高経営責任者（CEO）を交代すると発表しました。昨年7月、Intel社は7nmプロセス技術開発の遅れを理由に、次世代CPU（中央処理装置）のリリースが6ヶ月以上遅延することを発表しました。さらに、昨年12月には、米国のアクティビストヘッジファンドのThird Point社がIntel社の取締役会に書簡を送付し、市場シェアをSamsung Electronics、TSMC社（台湾）、AMD社（米国）に奪われているIntel社に代替計画の立案を検討するよう促しました。Intel社は最先端チップである3nmの製造を断念し、他企業のように生産の外注比率を高める可能性が高いと思われます。そうなれば、Samsung ElectronicsとTSMC社がその受け皿となるでしょう。

半導体の需要見通しも良好です。半導体チップを搭載する機器は増え続けています。電気自動車は1台当たり3,000を超える半導体チップを搭載するようになります。人工知能やビッグデータを含む産業機械の接続が増加し、センサーも搭載されるため、需要は加速するでしょう。

昨年8月のマンスリーレポートでは、当ファンドが中長期的な成長セクターとして注視している韓国の非メモリ事業を紹介しました。Samsung Electronicsの非メモリ半導体事業には、ファウンドリ（非メモリ半導体の委託生産）と独自システムの半導体事業の両方が含まれます。韓国はDRAMおよびNANDの最大の生産国であり、メモリ半導体の市場シェアはそれぞれ72%と49%ですが、非メモリ半導体の市場シェアは3%未満です。ただし、他のファウンドリ企業は、7nmマイクロ半導体の製造プロセスのための製造技術がなく撤退に追い込まれたため、Samsung Electronicsは市場シェアを本格的に拡大する機会を得ています。

非メモリ半導体事業の拡大は、新規市場への参入という点だけでなく、中小事業の成長という点でも好感されます。半導体の構造は単純で、種類が少なく、大量生産に適しているため、1社がメモリ半導体の設計から生産までの全工程を行うことは可能です。ただし、非メモリ半導体は様々なセンサー、コンピューターのCPUやモバイル機器のAP（アプリケーションプロセッサ）に搭載されるため、複雑で多様な回路があります。従って、非メモリ半導体では、Samsung Electronicsが全工程を行うよりも、ファブレス（設計）、ファウンドリ（製造）、アセンブリ（パッケージング）の各社がそれぞれの役割を果たす、大規模な協力的エコシステムが確立されるべきと当ファンドは考えます。過去にSamsung Electronicsがハンドセットとメモリ半導体で世界第1位になる間、バリューチェーンの主原材料および部品企業は10倍以上に成長しました。当ファンドは昨年来、様々な関連企業を訪問し、ポートフォリオにおける比率を徐々に増加させています。綿密な分析を通じて、最良の企業を選定し、長期間にわたって投資していきます。当ファンドは、市場の変動を予測するのではなく、成長している業界の中心的な企業を発見して、ポートフォリオを管理するように最善の努力をします。

当ファンドの投資対象企業は優れた経営の質、健全なバランスシート、高い競争力を備えているため、今回の危機収束後には強さに磨きがかかり、リーダーシップは一層強固になると考えられます。私どもは、経済状況に関わりなく、独自の健全なポートフォリオによって一貫した収益を生み出し、ファンダメンタルズの分析を通じて優れた企業を発掘し続けられるよう、今後も努力を続けてまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の業績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの目的

当ファンドは、主としてスパークス・韓国厳選投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、韓国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

ファンドの特色

1. マザーファンド受益証券を通じて、韓国の優良企業に投資します。

- ◆ ボトムアップ・リサーチによる個別銘柄調査に基づき、企業のビジネスの質や市場の成長性、経営に着目して、将来にわたるキャッシュフローから企業価値を推定し、この価値よりも株価が割安に放置されていると考えられる銘柄に選別して投資を行います。
- ◆ 参考指数は KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)※とします。
ただし、参考指数への追従を意図した運用は行いません。
※「KOSPI(韓国総合株価指数)(円ベース)」は、KOSPI(韓国ウォンベース)をもとに委託会社が円換算したものです。

2. 厳選投資します。

ベンチマークは設けず、銘柄を厳選して投資します。(特化型)

※当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

3. 長期保有します。

原則として短期的な売買は行わず、長期保有することを基本とします。

実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

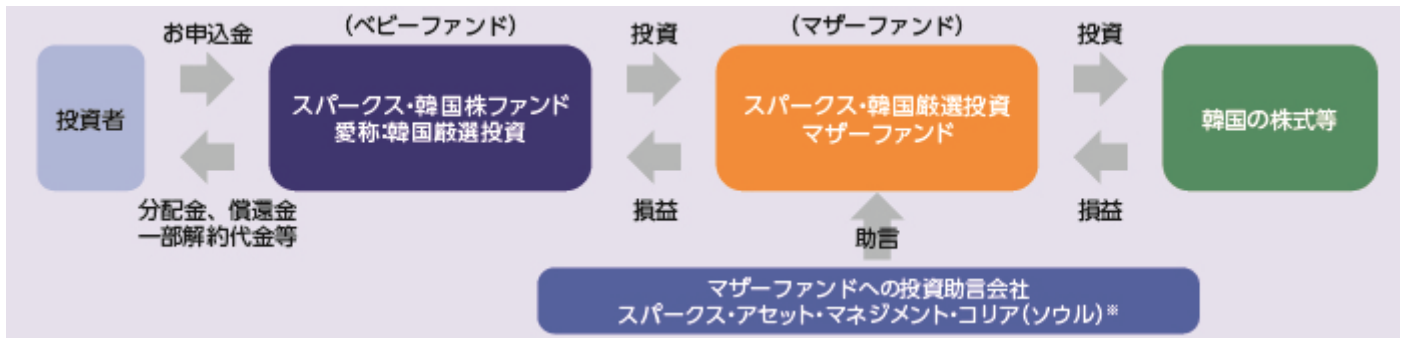
マンスリーレポート

ファンドの仕組み

ファミリーファンド方式[※]により、韓国の株式等へ実質的に投資を行います。

当ファンドが投資を行うマザーファンドについては、スパークス・アセット・マネジメント・コリア(ソウル)の韓国株式運用チームの投資助言を受け、当社のファンド・マネージャーが投資判断いたします。

※ ファミリーファンド方式とは、投資者の皆さまからお預かりした資金(ベビーファンド)をマザーファンドに投資し、実質的な運用をマザーファンドにて行う仕組みです。



※ スパークス・アセット・マネジメント・コリアは韓国ソウルに拠点を置くSPARXグループの一員であり、韓国でのボトムアップ・リサーチによる投資活動を強みとする会社です。また、リスク管理およびプロセスにも重点を置いており、それらを独立した組織として運営しています。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社について

◆ 一貫した投資哲学と運用プロセスを実践する独立系運用会社です。

スパークスは、1989年の創業以来、株式市場を取り巻く環境がいかに厳しくとも「マクロはミクロの集積である」という投資哲学の下、ボトムアップ・リサーチを行っております。

親会社であるスパークス・グループ株式会社は JASDAQ 市場(銘柄コード8739)に2001年12月に運用会社として初めて上場いたしました。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて内外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

価格変動リスク

当ファンドは、実質的に海外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うこととなります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

為替変動リスク

外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他の留意事項

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場および外国為替市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に換金等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

お申込メモ(お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・韓国株ファンド(愛称:韓国厳選投資)
商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	無期限(2018年12月21日設定)
決算日	毎年12月18日(休日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等は、収益分配を行わないこともあります。
お申込時間	各販売会社で毎営業日お申込いただけます。お申込時間は、原則として午後3時までとします。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	販売会社が定める単位
お申込価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額
お申込不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、取得のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約価額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
ご解約不可日	販売会社の営業日であっても、以下に該当する日は、解約のお申込の受付は行いません。 ・韓国の金融商品取引所が休業日の場合 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して、原則として7営業日目からお支払いします。

お客様にご負担いただく手数料等について

下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料: お申込受付日の翌営業日の基準価額に **3.3%(税抜 3.0%)**を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額

【ご解約時】

■信託財産留保額: なし

■解約手数料: なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬: 純資産総額に対して **年率 1.804%(税抜 1.64%)**

■その他の費用等

(1) 監査報酬、投資信託説明書(目論見書)や運用報告書等の作成費用などの諸費用(純資産総額に対して上限年率0.11%(税抜0.10%))

(2) マザーファンドの組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管費用等を、信託財産でご負担いただきます。

【お問い合わせ先】 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・韓国株ファンド 愛称：韓国厳選投資

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

●**委託会社** スパークス・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(加入協会) 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。

●**受託会社** 三井住友信託銀行株式会社

委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき株式会社日本カストディ銀行に委託を行います。

●**販売会社** 下記一覧参照

ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第140号	○	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第346号	○		○	○

〔お問い合わせ先〕 スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <https://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-6711-9200(受付時間:営業日 9:00 ~ 17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。